

第2期かがみの創生総合戦略 効果検証資料

資料1

1. 人口の現状

(1) 鏡野町人口ビジョンの推計値に対する実績値

国勢調査ベース	H27	～	R2	～	R7
人口ビジョン推計値	—		12,137		11,443
国勢調査結果	12,847	(5年に1度調査)	12,062	(5年に1度調査)	—

(参考) 住民基本台帳人口ベース	H27	～	R2	R3	R4	R5	R6
各年1月1日現在人口	13,773	～	12,859	12,739	12,610	12,468	12,265

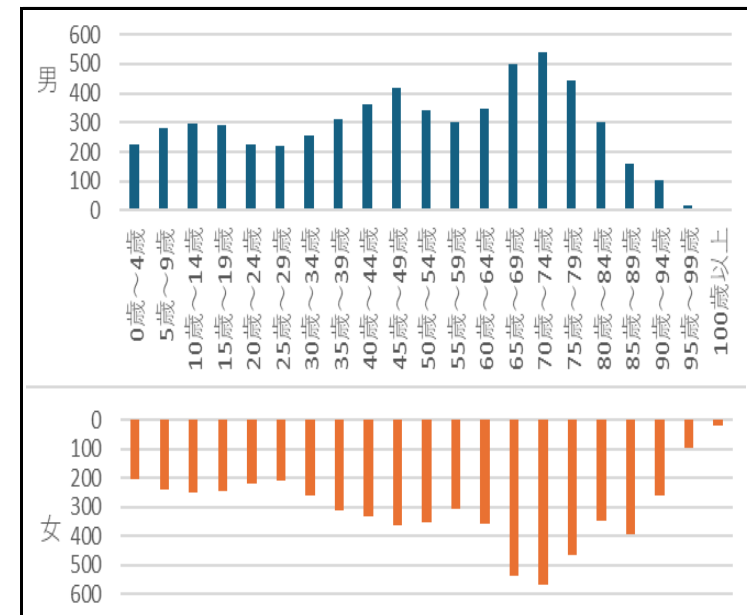
鏡野町の人口は減少傾向であり、令和2(2020)年国勢調査の結果では、「鏡野町人口ビジョン」(平成27(2015)年策定)の推計値より低い水準となっている。国勢調査の人口と住民基本台帳の人口はかい離があるが、減少率はほぼ同じである。

(2) 令和6年1月1日現在の鏡野町人口構成

R6.1.1人口構成	男	女	合計	(構成比)
0～14歳	802	691	1,493	12.2%
15～64歳	3,072	2,948	6,020	49.1%
65歳以上	2,066	2,686	4,752	38.7%
(再掲) 75歳以上	1,025	1,581	2,606	21.2%

出典：住民基本台帳データ

高齢化率(65歳以上人口)は38.7%(R5:38.2%)であり、右の人口ピラミッドからも65歳-74歳の比率が高くなっていることがわかる。5歳刻みで集計すると、70-74歳が最も多く、次点で65-69歳が多くなっている。

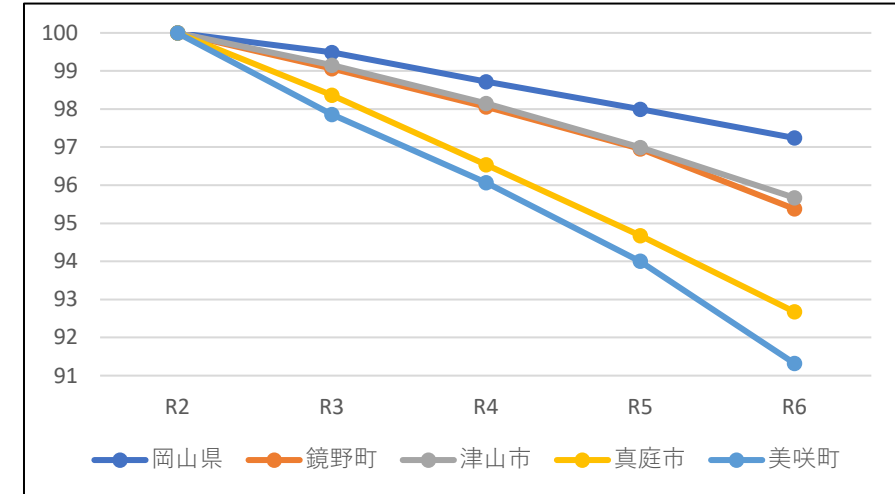


(3) 周辺市町村の人口増減率（1月1日時点・前年比）の状況

	R3	R4	R5	R6
岡山県平均	-0.51	-0.77	-0.73	-0.77
鏡野町	-0.93	-1.01	-1.13	-1.63
津山市	-0.84	-1.01	-1.18	-1.36
真庭市	-1.63	-1.86	-1.93	-2.12
美咲町	-2.14	-1.82	-2.15	-2.85

出典：総務省公表「住民基本台帳人口・世帯数、人口動態（市区町村別）」

※グラフはR2=100として各年の増減率を考慮した計算結果を反映

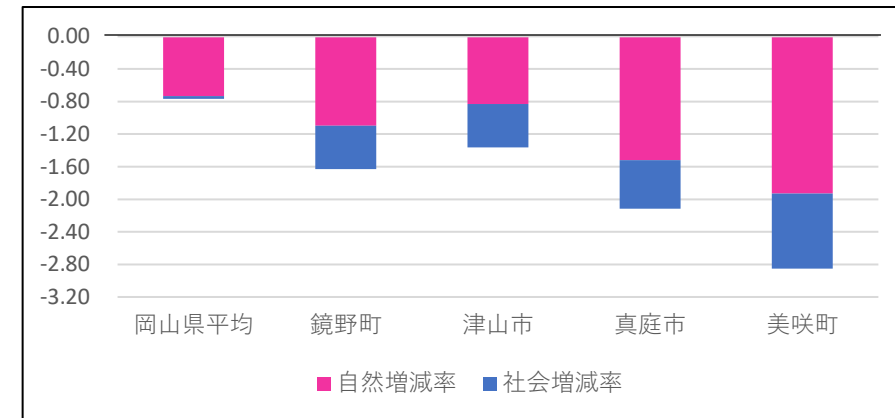


令和2年からの人口増減率を見ると、岡山県平均を含め、比較したいずれの市町においても人口減となっている。減少率の大きさをを見ると、鏡野町は県平均及び津山市より大きく、真庭市と美咲町より小さい結果となっている。

(4) 周辺市町村の令和5年中の自然増減率と社会増減率

	自然増減率	社会増減率
岡山県平均	-0.73	-0.04
鏡野町	-1.10	-0.53
津山市	-0.83	-0.53
真庭市	-1.52	-0.59
美咲町	-1.93	-0.92

出典：総務省公表資料「住民基本台帳人口・世帯数、人口動態（市区町村別）」



令和5年中の自然増減率と社会増減率を見ると、県平均及び4市町の自然増減率及び社会増減率についていずれもマイナスとなっている。

2. 各目標の評価と今後の方針

■達成度（進捗度）の判断基準

達成度（進捗度）の比率の算出方法	判断基準	
達成度 ：目標値の設定が単年度ごとの場合（例：年間〇件） ⇒ 【実績値÷目標値】 進捗度 ：目標値の設定が計画期間を通しての場合（例：5年で〇件） ⇒ 【実績値累計÷（目標値÷5×2）】 ※国勢調査により5年に1度の把握となる指標については「－」とする。	◎	目標値を大幅に超えて達成できた（120%以上）
	○	達成できた（100%～120%未満）
	△	達成できなかった（100%未満）

■達成度総括表

【基本目標1】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	15歳以上就業者数（国勢調査）	－	6		3	0	3
【基本目標2】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	合計特殊出生率	△	3		0	0	3
【基本目標3】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	交流人口	○	3		0	0	3
【基本目標4】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	住み続けたい割合	○	3		2	0	1

【基本目標 1】

安定した雇用を創出する

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	—	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
15歳以上就業者数（国勢調査）	6,289人 (2015年)	5,576人 (2025年)	5,890 (2020年)	—	—			—

基本目標 1 取組と効果検証

基本目標として掲げる「15歳以上就業者数」については、令和2（2020）年国勢調査の結果によると、5,890人であった。（調査は5年に1度）

「6次産業化の取組事例数」は0件であり、団子や干し芋等の試作を行ったが商品化には至らず、目標値を達成できなかった。

「新規創業・起業件数」については、相談件数は例年と同数程度あったが次年度以降の起業に向けての継続相談に至ったものが多く、件数としては4件ではあったが累計22件となり目標値である5年計20件を達成した。

「エコツーリズムルート開拓件数」については昨年度に目標値を達成しており、令和5年度は7月に（一社）鏡野観光局が立ち上がり、アドベンチャーツーリズム推進のため新規ルート（プラン）を2件開拓できた。しかし、「観光入込客数」については台風7号の災害被害の影響により、登山道やスキー場への入込客数が大幅に減少したため、目標値を達成できなかった。

「新規就農者数」については、新規就農奨励金による手厚いサポートに魅力を感じて本町で新規就農を志す方が増加し、目標値に対して高い進捗率で推移している。ただ、集落営農組織については、高齢化に起因する組織解散への対策が求められている。地域で法人化を希望する農業者の相談はあるものの、組織化には至っていない。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
6次産業化の取組事例数	—	計5件	1	1	0			△
新規創業・起業件数	—	計20件	9	9	4			◎
エコツーリズムルート開拓件数	—	計5件	2	3	2			◎
新規就農者数	—	計15人	3	5	5			◎
集落営農組織の設立	—	計1団体	0	0	0			△
観光入込客数	729千人	年900千人	790	947	828			△

【基本目標2】

子育て世代に選ばれる環境づくり

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	—	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
合計特殊出生率	2.04 (H28)	2.04	2.12	1.77	1.98			△

基本目標2 取組と効果検証

基本目標として掲げる「合計特殊出生率」は、1.98であり、目標である令和7年度2.04を下回った。

「子育てしやすい町だと感じている町民の割合」は、令和4年度から上昇した。令和4年度に創設した子育て支援課を中心に、各種子育て施策の充実を図った成果によるものと推察される。しかしながら目標値の達成には至っていないため、引き続き令和7年度からの第3期子ども・子育て支援事業計画の策定などを通して、子育て世代のニーズを把握し、過不足のない必要な支援に取り組むとともに、令和5年度より開設した町公式SNS等を活用し、町の取組を積極的に発信していく必要がある。

「仕事と子育てが両立できていると思う町民の割合」は、令和4年度より低下し、目標値も未達成である。学童期については、放課後児童クラブで受入れができているが、乳幼児期については、令和5年度においても待機児童が発生しており、待機児童解消に向けた取組が必要である。

「年間の出生数」は、目標値は未達成であったが、令和4年度より増加した。コロナ禍の影響で妊娠を控えていた状況が改善傾向にあると考える。出産予定月が令和6年4月から令和7年3月となる妊娠届出数が70件であることから、令和6年度の出生数は70人程度となることが見込まれる。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
子育てしやすい町だと感じている町民の割合	89.8%	90%	90	84.8	88.6			△
仕事と子育てが両立できていると思う町民の割合	80.7%	75%	71.3	75.9	68.8			△
年間の出生数	90人	90人	91	67	84			△

【基本目標3】

新しい人の流れをつくる

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
交流人口	47,640人	毎年 3万人以上	54,896	63,906	30,236			○

基本目標3 取組と効果検証

基本目標として掲げる「交流人口」は30,236人となり、目標値は達成したものの令和4年度より大幅に減少した。新型コロナの5類移行の影響や自然アクティビティブームにより回復傾向であったが、令和5年8月に発生した台風7号の災害被害により町内施設等が通常営業できなかったことが要因として考えられる。

「移住者数」(移住相談会及び移住体験ツアーへの参加等により移住された方)は10人であり、目標値を達成できなかった。移住相談件数及び移住体験ツアー利用者数は令和4年度より増加したが、移住希望者のニーズを満たす物件を提供できなかったことが要因の一つとして考えられる。空き家の掘り起こしによるニーズに合致した物件の確保が必要である。

「文化・スポーツ合宿招致数」は1件であり、目標値を大きく下回った。町内宿泊施設の閉館(令和4年11月)及び台風7号の影響によるものと考えられる。

「ふるさと納税の寄附者数」は897件であり、目標値を達成できなかった。令和6年2月にふるさと納税の運営・管理等のノウハウを持った中間事業者と委託契約を締結し、3月に返礼品提供事業者に対して説明会を実施しており、その成果は令和6年度以降の数値に反映されると見込まれる。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
移住者数	14	年間30人	31	23	10			△
文化・スポーツ合宿招致数	4件	年間20件	3	7	1			△
ふるさと納税の寄附者数	1,121件	年間 1,000件以上	1,067	903	897			△

【基本目標4】

住み続けたい魅力あるまちをつくる

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
住み続けたい割合	86.9%	88%	83.9	85.7	89.6			○

基本目標4 取組と効果検証

基本目標として掲げる「住み続けたい割合」は、令和4年度から3.9ポイント上昇し、89.6%で目標値を達成した。10歳代・20歳代・50歳代は目標値に達していないが、その他の年代は目標値を達成しており、特に30歳代・40歳代の数値が上昇している。若者が職場の選択肢を広げるためや都会志向等で転出を検討している可能性が考えられる一方で、子育て世代に対して、町の子育て施策による一定の効果の表れや定住場所として選ばれたと推察される。

「町営バス・乗り合いタクシー乗車人数」は8,023人となり、目標値を大きく下回った。町人口の減少及び学生利用者の減少、タクシー助成制度による民間タクシー利用者や自動車を運転する高齢者の増加等が要因と考える。今後は、より利便性の高いダイヤやルートへの見直しが必要である。【参考】高齢者等タクシー利用料金助成事業利用件数（R5）：12,379件

「要介護認定率」は、県平均より2.6ポイント低く、目標値を達成した。「ガンバランドかがみの」等の総合事業が介護予防に一定の寄与をしていると考える。

「省エネ機器導入促進補助金申請件数」は、96件で目標値を達成した。高効率給湯器が申請件数の大半を占めている。今後は、電気自動車の購入及びV2H充電設備の導入を啓発していく。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
町営バス・乗り合いタクシー乗車人数	10,001人	14,000人	8,838	7,132	8,023			△
要介護認定率	2.5	県平均より 2%低い率	2.2	2.6	2.6			◎
省エネ機器導入促進補助金申請件数	96件	年間80件	83	80	96			◎

【横断的な目標1】 多様な人材の活躍を推進する

昨年に引き続き、行政評価外部評価委員会のほか、町が行う各種委員会等において様々な職種の方に関わっていただき、施策を推進した。

【横断的な目標2】 新しい時代の流れを力にする

デジタル社会実現に向けた国の方針を受け、引き続き行政手続きオンライン化等を推進した。